

Unified Contact Center ExpressソリューションのApache Log4j脆弱性のトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[よくある質問](#)

概要

このドキュメントでは、Apache Log4jの脆弱性がCisco Contact Center Express(UCCX)製品ラインに及ぼす影響について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified Contact Center Express製品バージョン12.5.X

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

Apacheは12月にLog4jコンポーネントの脆弱性を発表しました。これはCisco Unified Contact Center Expressソリューションで広く使用されており、シスコは製品ラインナップの評価を積極的に行い、安全性と影響を確認しています。

注：詳細については、[Cisco Security Advisory - cisco-sa-apache-log4j](#)を参照してください

[o](#)

このドキュメントでは、利用可能になった時点で (URL を使用して) より詳細な情報を提供します。

アプリケーション	障害 ID	11.6. (2)。	12.0(1)	12.5(1)	12.5.1(SU1)
Unified CCX	Cisco Bug ID CSCwa47388	影響なし	影響なし	修正なし (注を参照)	12.5(1) SU03
CCP(Social Miner)		影響なし	影響なし	影響なし	12.5(1) SU03
Webex Experience Management(WxM)		WxMはlog4jを使用しないため、ソリューションは影響を受けません。			

注：12.5トレインのお客様の修正は、12.5(1)SU1ES03でのみ利用できます。12.5(1)のお客様は、ES03を適用するために12.5(1)SU1にアップグレードする必要があります。

よくある質問

Q.1 FinesseとCUICも影響を受けますが、それぞれのパッチは異なりますか。

解答：FinesseとCUICは、UCCXソフトウェアバンドルに統合されています。したがって、リリースされるパッチは、UCCXサーバ全体の修正を提供します。

Q.2 UCCXバージョン11.6.2より前のバージョンも影響を受けますか。

解答：いいえ。これらのバージョンは影響を受けません。

Q.3パッチはいつリリースされますか。

解答：アドバイザー表は、パッチがリリースされた時点の仮日付を示しています。テーブルは関連リンクで更新する必要があります。

Q.4修正が完了するまで実装できる回避策はありますか。

解答：PSIRTのアドバイザーに従い、該当するバージョンに対してリリースされたパッチが可能な限り速やかに適用されることを推奨します。

Q.5最新情報で文書が改訂される頻度はどのくらいですか。

解答：このドキュメントは毎日確認され、午前中 (IST時間) に更新されます。

Q.6 CCXソリューションには、[CVE-2021-45105の脆弱性に対するパッチが付属しています](#)。これは、log4jが新しい修正バージョン(2.17.0)を提供したためです。

解答：はい。[12.5\(1\) SU01 ES03](#)パッチは、[CVE-2021-45105](#)の脆弱性に対する修正で構成されています。